

2026年8月26日

株式会社ヤマウラ

(コード番号:1780 東証プライム市場)

ニュースリリース

熱中症対策等を想定した複合気象観測装置「ハレルヤ」を開発 ～屋外施設の安全管理・運営高度化を支える気象ソリューションを提案～

総合建設業・製造業の株式会社ヤマウラ（本社：長野県駒ヶ根市、代表取締役社長：山浦正貴、以下「当社」）はこのたび、温度、湿度、黒球温度、風速及び雨量の5つの気象要素を一体的に観測可能な複合気象観測装置「ハレルヤ」を開発しましたので、お知らせいたします。



「ハレルヤ」（プロトタイプ）

1. 開発の背景・目的

近年、猛暑、集中豪雨、突風等の異常気象が頻発しており、建設・土木現場をはじめ、学校（校庭）、公園、屋外レジャー施設、ゴルフ場など、多くの人が利用・滞在する屋外空間において、安全確保と適切な運営判断の重要性が高まっております。

屋外施設の管理現場では、熱中症リスクへの対応、降雨・強風などの発生時の迅速な利用制限や避難誘導、イベント・授業・競技運営の可否判断など、気象状況を踏まえたタイムリーな意思決定が求められています。しかし実際の現場では、周辺の広域気象情報だけでは施設ごとの局地的な気象変化まで十分に把握しきれないケースもあります。

このような状況を踏まえ、当社は現場ごとのリアルタイムな気象情報の把握と迅速な安全対応を支援し、あわせて施設運営の効率化・高度化に資することを目的として、複合気

象観測装置「ハレルヤ」を開発しました。

2. 本製品概要・特長

「ハレルヤ」は温度、湿度、黒球温度、風速、雨量の5つの気象データを一体的に観測する装置です。電源はコンセントに挿すだけで使用でき、取得した観測データはパソコン、タブレット、スマートフォン等で閲覧可能です。通信環境があれば、現場のみならず遠隔地からも確認することができます。

また、観測データを基にWBGT（暑さ指数）を算出し、熱中症リスクの把握に活用できるほか、あらかじめ設定した基準値を超過した場合に通知を行う機能も搭載しています。

3. 想定する主な用途・活用方法

本製品は以下のとおり幅広い分野での活用を想定しております。

◆学校・保育施設（校庭・園庭）等

校庭での体育授業、部活動、運動会等の実施判断や休止判断を支援し、児童・生徒・教職員の熱中症対策など安全確保に活用できます。

◆公園・屋外公共施設

遊具広場、スポーツ広場、イベントスペース等における利用者の安全対策に加え、指定管理者や自治体による巡回・注意喚起・利用制限判断の高度化に寄与します。

◆屋外レジャー施設

キャンプ場、アスレチック施設、観光施設、テーマ性のある屋外体験施設等において、天候急変時の安全判断、来場者案内、スタッフ配置の最適化など、安心・安全な施設運営に貢献します。

◆ゴルフ場

コース内の暑熱環境などの把握により、プレー継続可否の判断、来場者への注意喚起、従業員の作業安全管理など、利用者サービスと安全管理の両立を支援します。

◆建設土木の工事現場

現場ごとの暑熱環境、降雨、強風等を把握することで、作業可否判断、重機使用時の安全確認、熱中症予防、退避判断の迅速化に活用。複数現場の気象状況を遠隔で確認することで、現場管理の効率化や安全管理水準の向上に寄与します。

◆農業関連

圃場や農業施設周辺の気象変化を把握することで、屋外作業時の熱中症対策、降雨前後

の作業計画調整、強風発生時の安全確保などに活用。作業者の安全管理に加え、日々の営農判断を支える情報基盤としても期待できます。

◆ダム関連施設

ダム周辺や管理施設における降雨、風速等の状況把握により、保守点検作業時の安全管理や現場対応判断の高度化に活用。遠隔地からの気象確認にも対応できるため、施設管理の効率化にも寄与します。

このように「ハレルヤ」は、単なる気象観測機器にとどまらず、屋外施設における安全管理、運営判断、利用者対応を総合的に支えるソリューションとして活用いただけます。

4.今後の事業展開

本製品は今後、試験運用をへて販売を開始します。学校や自治体、公園管理事業者、屋外レジャー施設、ゴルフ場などでは、初期導入負担を抑えつつ運用したいニーズも想定されることから、リース等を含め柔軟な提供形態を通じて導入拡大を図ってまいります。

また、当社グループが有する建設・土木分野における知見及びエンジニアリング力を活かし、将来的に風向き、落雷検知など顧客ニーズに即した機能充実も見据え、各施設の運用実態に応じた提案を進めてまいります。安全管理のみならず、施設の稼働判断、イベント運営、来場者案内、現場管理の効率化等にも資する製品として展開していく方針です。

5.今後の見通し

当社は本製品について、年間売上高2000万円・リース台数30台（初年度）を目標としております。現時点においては当社連結業績に与える影響は軽微ですが、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

【株式会社ヤマウラについて】

創 業	1920（大正9）年
資本金	28 億 8,849 万円
代表者	代表取締役社長 山浦正貴
上場市場	東京証券取引所プライム市場/名古屋証券取引所プレミアム市場
事業内容	総合建設業・製造業として、建設事業（建築・土木）・エンジニアリング事業・ 開発事業を展開
URL	https://www.yamaura.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ヤマウラ 経営戦略本部 IR 推進課 宮下

E-mail : ir@yamaura.co.jp